

第3章 在宅医療廃棄物の処理の現状、問題点

1. アンケート調査結果の概要

在宅医療廃棄物の処理の現状、問題点等を把握するために、市町村（74ヶ所）
 都市区医師会（47ヶ所）及び所属の医療機関（141ヶ所） 都市区薬剤師会（74
 ヶ所） 訪問看護ステーション（161ヶ所）の合計497ヶ所に対して、アンケー
 ト調査を実施した。

アンケート調査結果の概要は以下に示すとおりである（調査結果の詳細は、
 資料編の第1項（P1～58）を参照）。

（1）市町村

1）在宅医療廃棄物の受入状況

	注射針	注射筒	プラスチック製の廃棄物			可燃性の廃棄物等			市町村数 ・割合	
			CAPD バッグ	その他ビ ニールパ ック類	チュー ブ・カテ ーテル	脱脂 綿・ガー ゼ	紙おむ つ	残薬		
									5	7.8%
	×								10	15.6%
	×	×							10	15.6%
	×	×	(1～2品目)						7	10.9%
	×	×	×	×	×				6	9.4%
	×	×	×	×	×	×			2	3.1%
	×	×	×	×	×	×	×	×	4	6.3%
	在宅医療廃棄物を「消毒・滅菌」等、家庭で行えないような条件付きで 受け入れている								8	12.5%
	上記を除く								5	7.8%
	無回答（一部または全部）								7	10.9%
	合計								64	100%

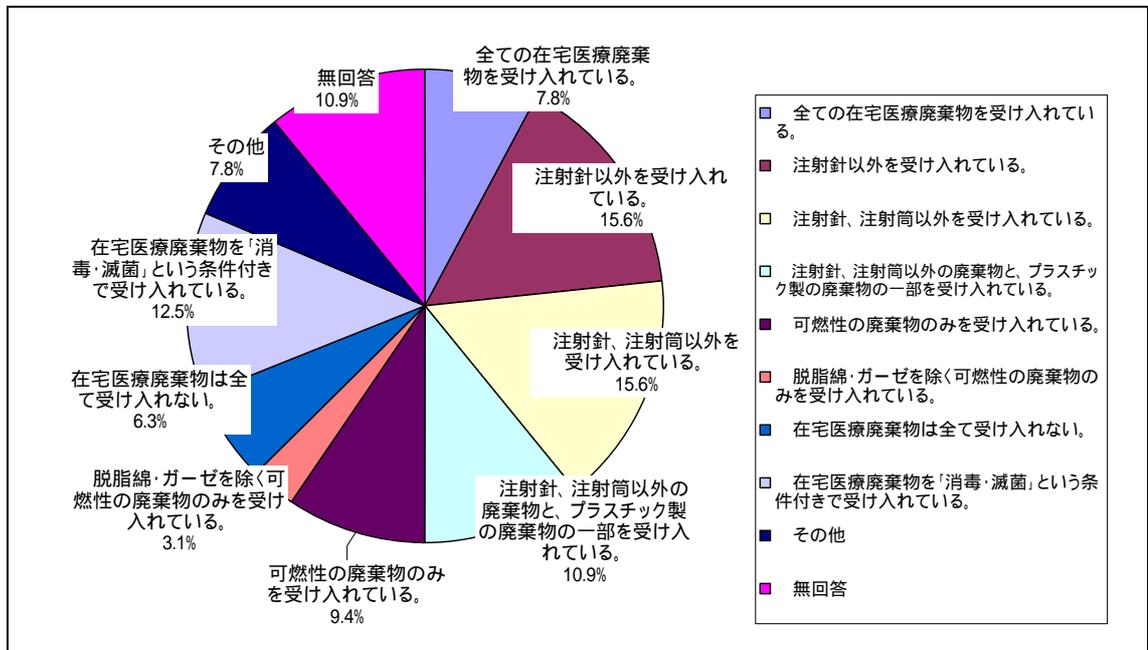
【凡例】

全ての在宅医療廃棄物を受け入れ（「条件付き」または「無条件」で受け入れ、以下同じ）ている。
 注射針以外を受け入れている。
 注射針、注射筒以外を受け入れている。
 注射針、注射筒以外の廃棄物と、プラスチック製の廃棄物の一部を受け入れている。
 可燃性の廃棄物のみ（注射針、注射筒、プラスチック製の廃棄物以外）を受け入れている。
 脱脂綿・ガーゼを除く可燃性の廃棄物のみ（注射針、注射筒、プラスチック製の廃棄物、脱脂綿・ガ
 ーゼ以外）を受け入れている。
 在宅医療廃棄物は全て受け入れない。
 在宅医療廃棄物を「消毒・滅菌」という条件付きで受け入れている。
 その他（注射針、CAPD バッグ以外を受け入れる場合や CAPD バッグ、紙おむつ、残薬のみを受け
 入れる場合等）
 無回答（全てまたは一部が無回答）

：「条件付き」または「無条件」で受入（「消毒・滅菌」等の家庭でできないような「条件付き」の受入
 を除く）

×：受け入れない

滅菌等の条件付きを「受入」として集計した場合の内訳は、 :2ヶ所、 :2ヶ所、 :1ヶ所、 :3
 ヶ所となる。



在宅医療廃棄物の受入状況

2) 在宅医療廃棄物の受入条件 (複数回答)

在宅医療廃棄物の種類	容器に入れる	袋等に入れる	その他 1[滅菌・消毒(非感染性)]	その他 2[付着物(汚物、薬液)等の除去]	その他 3(その他) ^{注)}	合計
a.注射針	4 11.1%	3 8.3%	1 2.8%	0 0%	1 2.8%	9 25.0%
b.注射筒	2 5.6%	7 19.4%	3 8.3%	2 5.6%	0 0%	14 38.9%
c.CAPD バッグ	0 0%	15 41.7%	4 11.1%	5 13.9%	1 2.8%	25 69.4%
d.その他ビニールバッグ類	0 0%	13 36.1%	4 11.1%	5 13.9%	0 0%	22 61.1%
e.チューブ・カテーテル類	0 0%	11 30.6%	5 13.9%	1 2.8%	1 2.8%	18 50.0%
f.脱脂綿・ガーゼ	0 0%	17 47.2%	9 25.0%	0 0%	3 8.3%	29 80.6%
g.紙おむつ	0 0%	20 55.6%	4 11.1%	7 19.4%	2 5.6%	33 91.7%
h.服用しなかった薬	0 0%	14 38.9%	0 0%	1 2.8%	1 2.8%	16 44.4%
i.その他(ゴム手袋)	0 0%	0 0%	1 2.8%	0 0%	0 0%	1 2.8%

注) 受入条件の「その他 3(その他)」は、「表示する」、「針の部分を除く」、「留置カテーテルは除く」、「紙に包む」、「少量に限る」、「密閉する」であった。

3) 在宅医療廃棄物を受け入れない理由 (複数回答)

a.感染性による廃棄物の危険性	b.形状(注射針による貫通、液状物による液漏れ)による廃棄物の危険性	c.廃プラスチック類が多く、焼却炉に負荷をかけるため	d.その他	合計
53 94.6%	44 78.6%	3 5.4%	2 3.6%	102 182.1%

注) その他は、「どの家庭が在宅医療をしているか、ごみの収集作業中ではわからないため」、「感染性の医師の判断があっても、個別収集でないので判断できない」であった。

4) 一般廃棄物収集時の針刺し事故等

a. 針刺し事故 が起こったこと がある	b. 血液・薬剤等の 液状物による液 漏れ事故が起こ ったことがある	c. 事故が起こ ったことはない	d. その他	無回答	合計
19	1	34	5	5	64
29.7%	1.6%	53.1%	7.8%	7.8%	100%

5) 在宅医療廃棄物の関する医療機関、患者・家族等に対する行政指導の状況

a. 手引き等を 作成して指導 している	b. 問い合わせが あったときに口 頭で指導する	c. 指導していない (指導するケース が生じていない)	d. その他	無回答	合計
5	49	2	6	2	64
7.8%	76.6%	3.1%	9.4%	3.1%	100%

注) その他は、「医師会を通じて周知している」、「医療機関、患者へ文書で依頼」等であった。

6) 在宅医療廃棄物の処理に関する検討(学識経験者等による委員会等)状況

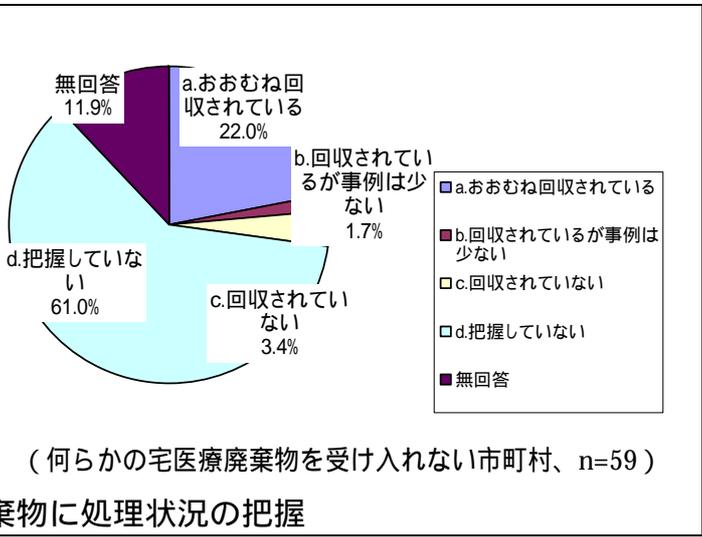
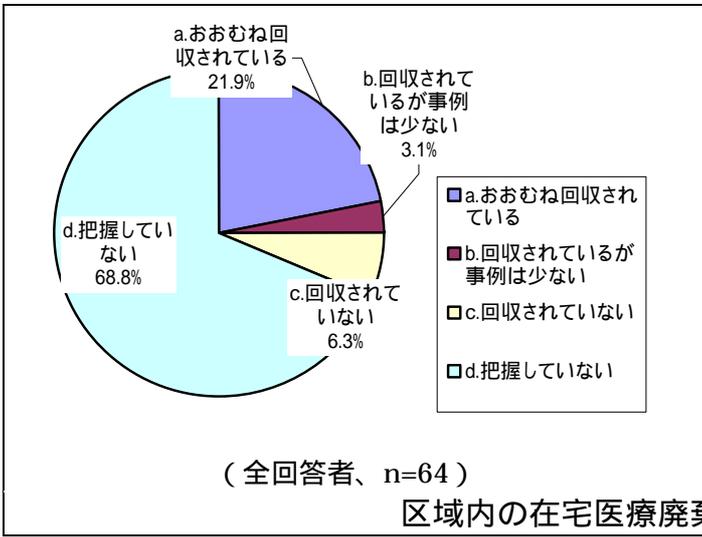
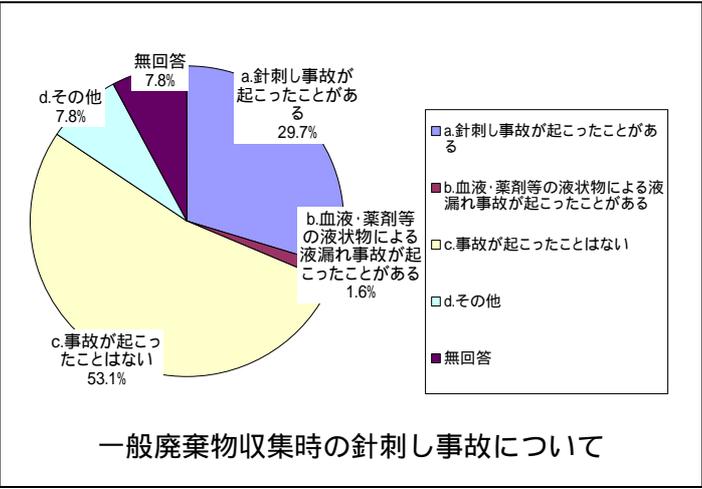
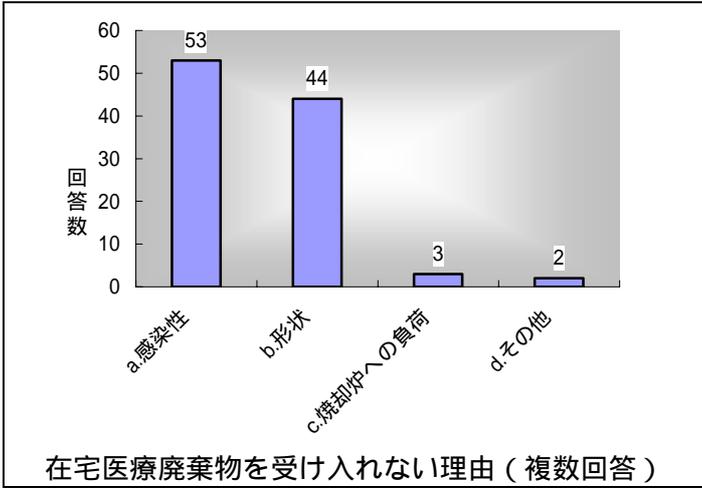
a. (検討したこ と)がある	b. (検討したこ と)がない	無回答	合計
2	61	1	64
3.1%	95.3%	1.6%	100%

7) 区域内の在宅医療廃棄物の処理状況の把握

a. おおむね回 収されている	b. 回収されて いるが事例は 少ない	c. 回収されて いない	d. 把握してい ない	合計
14	2	4	44	64
21.9%	3.1%	6.3%	68.8%	100%

【参考：何らかの在宅医療廃棄物を受け入れない市町村における区域内の在宅医療廃棄物の処理状況の把握】

a. おおむね回 収されている	b. 回収されて いるが事例は 少ない	c. 回収されて いない	d. 把握してい ない	無回答	合計
13	1	2	36	7	59
22.0%	1.7%	3.4%	61.0%	11.9%	100%



(2) 医師会

1) 会員（医療機関）における在宅医療廃棄物の回収状況

集計結果

a.回収されている	b.回収されているが事例は少ない	c.回収されていない	d.把握していない	e.その他	合計
14	0	1	18	0	33
42.4%	0%	3.0%	54.5%	0%	100%

回収物の内訳

注射針 + 注射針以外	注射針のみ	注射針以外	無回答	合計
5	3	3	3	14
15.2%	9.1%	9.1%	9.1%	42.4%

注1) 上記で「a」または「b」の回答者のみが本設問を回答している。

注2) 注射針以外の廃棄物は、脱脂綿・ガーゼ、チューブ・カテーテル類であった。

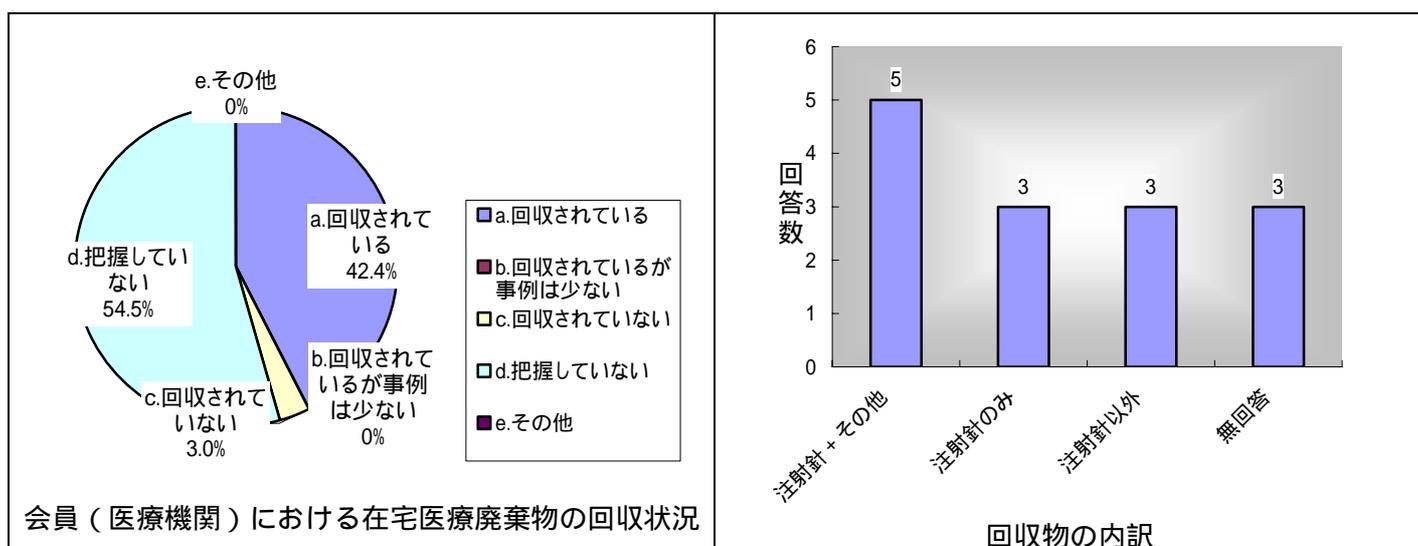
2) 郡市区医師会単位での在宅医療廃棄物の回収状況

a.行っている	b.行っていない	合計
0	33	33
0%	100%	100%

3) 郡市区医師会による在宅医療廃棄物の処理に関する患者・家族への周知

a.行っている 注)	b.行っていない	無回答	合計
1	31	1	33
3.0%	93.9%	3.0%	100%

注) 周知の内容は「会員（医療機関）向けの手引き等の作成」という回答であった。



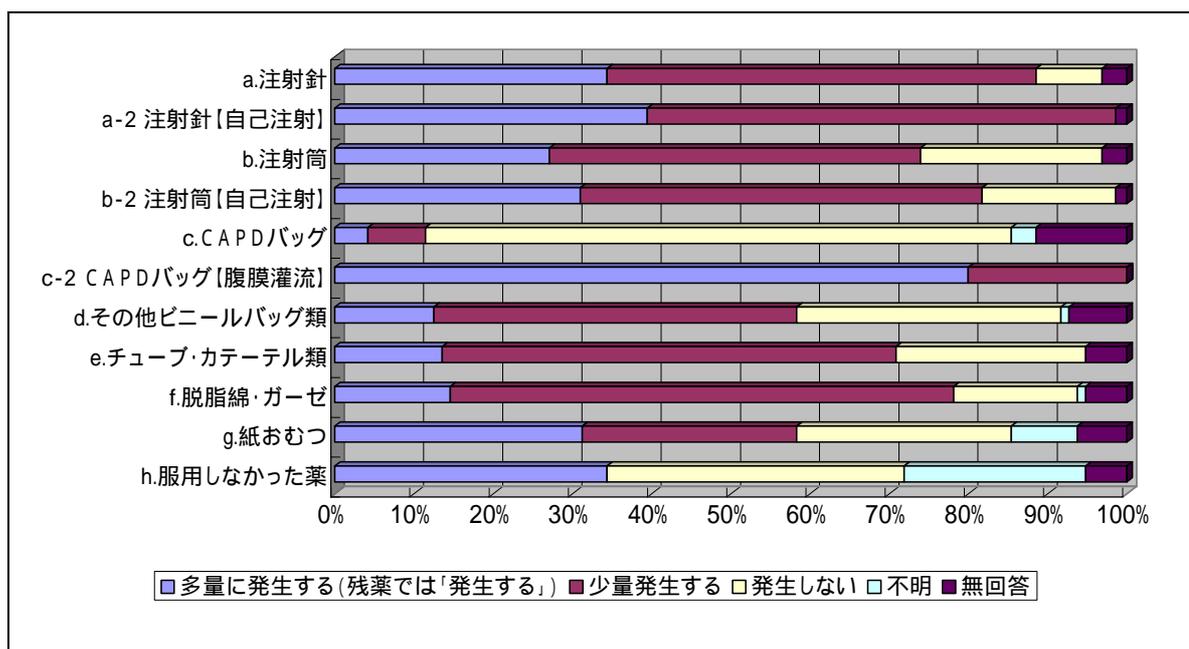
(3) 医療機関

1) 在宅医療廃棄物の発生状況

	多量に発生する(残薬では「発生する」)	少量発生する	発生しない	不明	無回答	合計
a.注射針	33 34.4%	52 54.2%	8 8.3%	0 0%	3 3.1%	96 100%
a-2 注射針【自己注射】	28 39.4%	42 59.2%	0 0%	0 0%	1 1.4%	71 100%
b.注射筒	26 27.1%	45 46.9%	22 22.9%	0 0%	3 3.1%	96 100%
b-2 注射筒【自己注射】	22 31.0%	36 50.7%	12 16.9%	0 0%	1 1.4%	71 100%
c.CAPD バッグ	4 4.2%	7 7.3%	71 74.0%	3 3.1%	11 11.5%	96 100%
c-2 CAPD バッグ【腹膜灌流】	4 80.0%	1 20.0%	0 0%	0 0%	0 0%	5 100%
d.その他ビニールバッグ類	12 12.5%	44 45.8%	32 33.3%	1 1.0%	7 7.3%	96 100%
e.チューブ・カテーテル類	13 13.5%	55 57.3%	23 24.0%	0 0%	5 5.2%	96 100%
f.脱脂綿・ガーゼ	14 14.6%	61 63.5%	15 15.6%	1 1.0%	5 5.2%	96 100%
g.紙おむつ	30 31.3%	26 27.1%	26 27.1%	8 8.3%	6 6.3%	96 100%
h.服用しなかった薬	33 34.4%	- -	36 37.5%	22 22.9%	5 5.2%	96 100%

注1) 「a-2 注射針【自己注射】」および「b-2 注射筒【自己注射】」は、別の設問で「在宅自己注射」を受けている患者がいるという回答をしている医療機関の発生状況を示している。

注2) 「c-2 CAPD バッグ【腹膜灌流】」は、別の設問で「在宅自己腹膜灌流」を受けている患者がいるという回答をしている医療機関の発生状況を示している。



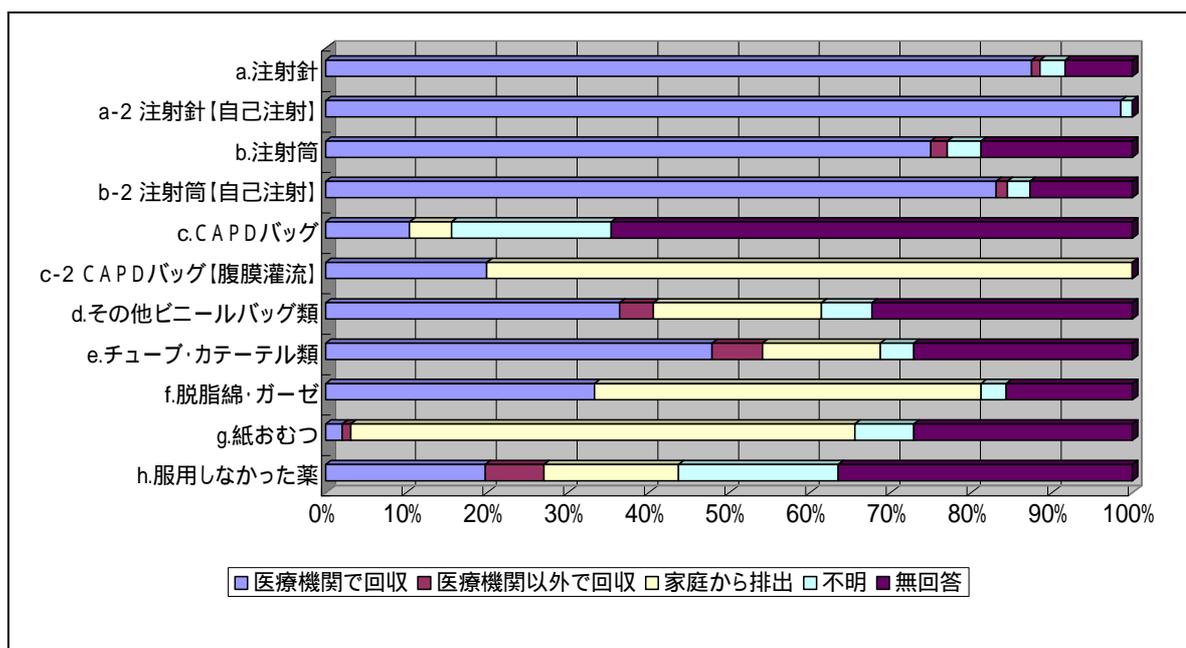
在宅医療廃棄物の発生状況

2) 在宅医療廃棄物の回収状況

	医療機関で回収	医療機関以外で回収	家庭から排出	不明	無回答	合計
a.注射針	84 87.5%	1 1.0%	0 0%	3 3.1%	8 8.3%	96 100%
a-2 注射針【自己注射】	70 98.6%	0 0%	0 0%	1 1.4%	0 0%	71 100%
b.注射筒	72 75.0%	2 2.1%	0 0%	4 4.2%	18 18.8%	96 100%
b-2 注射筒【自己注射】	59 83.1%	1 1.4%	0 0%	2 2.8%	9 12.7%	71 100%
c.CAPD バッグ	10 10.4%	0 0%	5 5.2%	19 19.8%	62 64.6%	96 100%
c-2 CAPD バッグ【腹膜灌流】	1 20.0%	0 0%	4 80.0%	0 0%	0 0%	5 100%
d.その他ビニールバッグ類	35 36.5%	4 4.2%	20 20.8%	6 6.3%	31 32.3%	96 100%
e.チューブ・カテーテル類	46 47.9%	6 6.3%	14 14.6%	4 4.2%	26 27.1%	96 100%
f.脱脂綿・ガーゼ	32 33.3%	0 0%	46 47.9%	3 3.1%	15 15.6%	96 100%
g.紙おむつ	2 2.1%	1 1.0%	60 62.5%	7 7.3%	26 27.1%	96 100%
h.服用しなかった薬	19 19.8%	7 7.3%	16 16.7%	19 19.8%	35 36.5%	96 100%
i.その他1[容器(ボトル類、缶、段ボール等)]	2 66.7%	0 0%	1 33.3%	0 0%	- -	3 100%
j.その他2[血糖測定器関連(穿刺針、試験紙)]	0 0%	0 0%	1 100%	0 0%	- -	1 100%
k.その他3[ゴム手袋]	0 0%	0 0%	1 100%	0 0%	- -	1 100%

注1) 「a-2 注射針【自己注射】」, 「b-2 注射筒【自己注射】」は、別の設問で「在宅自己注射」を受けている患者がいるという回答をしている医療機関の回収状況を示している。

注2) 「c-2 CAPD バッグ【腹膜灌流】」は、別の設問で「在宅自己腹膜灌流」を受けている患者がいるという回答をしている医療機関の回収状況を示している。



在宅医療廃棄物の回収状況

3) 回収後の廃棄物の処理

a.産業廃棄物 処理業者に委 託する	b.メーカーが 回収する	c.市町村に排 出する	d.その他	無回答	合計
87	0	0	0	9	96
90.6%	0%	0%	0%	9.4%	100%

4) 回収を始めた動機(複数回答)

a.独自の判断 で回収を始め た	b.患者・家族 からの相談で 回収を始めた	c.医師会から の指示回収を 始めた	d.メーカーと相 談して回収を 始めた	e.その他	合計
75	10	14	1	1	101
87.2%	11.6%	16.3%	1.2%	1.2%	117.4%

注) その他は、「在宅医療廃棄物の処理は医療機関の責任と思っていた」であった。

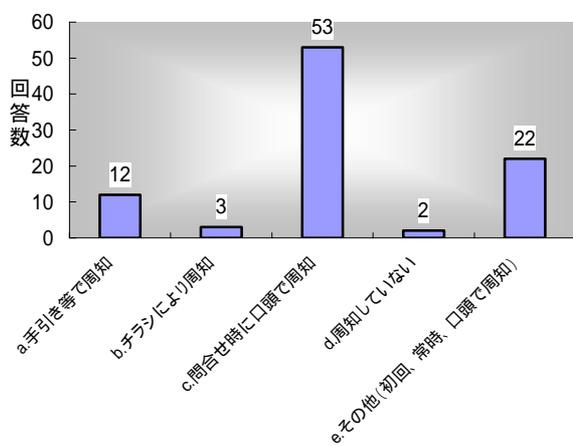
5) 在宅医療廃棄物に関する患者・家族への周知

a.手引き等 により周知し ている	b.チラシによ り周知して いる	c.患者・家族か ら問い合わせが あったときに口 頭で周知する	d.周知して いない	e.その他(初 回、常時、 口頭で周 知)	無回答	合計
12	3	52	2	22	5	96
12.5%	3.1%	54.2%	2.1%	22.9%	5.2%	100%

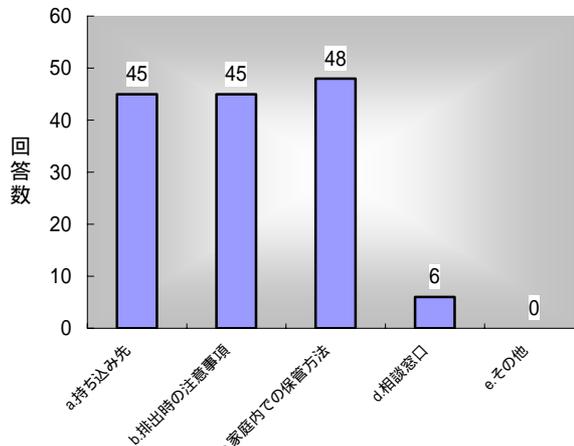
注) その他は、全て「初回、または常時、口頭で周知」であった。

6) 在宅医療廃棄物に関する周知内容(複数回答)

a.持ち込み先 について周知する	b.家庭から在宅 医療廃棄物を排 出する際の注意 事項について周 知する	c.家庭内におけ る在宅医療廃棄 物の保管方法に ついて周知する	d.在宅医療廃棄 物の処理に関す る相談窓口につ いて周知する	e.その他	合計
45	45	48	6	0	144
62.5%	62.5%	66.7%	8.3%	0%	200.0%



在宅医療廃棄物に関する患者・家族への周知



在宅医療廃棄物に関する周知内容(複数回答)

(4) 薬剤師会

1) 薬剤師会による在宅医療廃棄物の回収

a.回収している	b.回収していない	合計
10	52	62
16.1%	83.9%	100%

2) 回収後の廃棄物の処理

a.産業廃棄物処理業者に委託する	b.メーカーが回収する	c.市町村に排出する	d.その他	合計
9	0	0	1	10
90.0%	0%	0%	10.0%	100%

注) その他は「回収事業を実施しているが、回収実績が無い」であった。

3) 回収を始めた動機(複数回答)

a.独自の判断で回収を始めた	b.患者・家族からの相談で回収を始めた	c.メーカーと相談して回収を始めた	d.行政との協議で回収を始めた	e.その他	合計
7	1	0	2	1	11
70.0%	10.0%	0%	20.0%	10.0%	110.0%

注) その他は「医療機関からの希望」であった。

4) 会員(個薬局)における在宅医療廃棄物の回収状況

集計結果

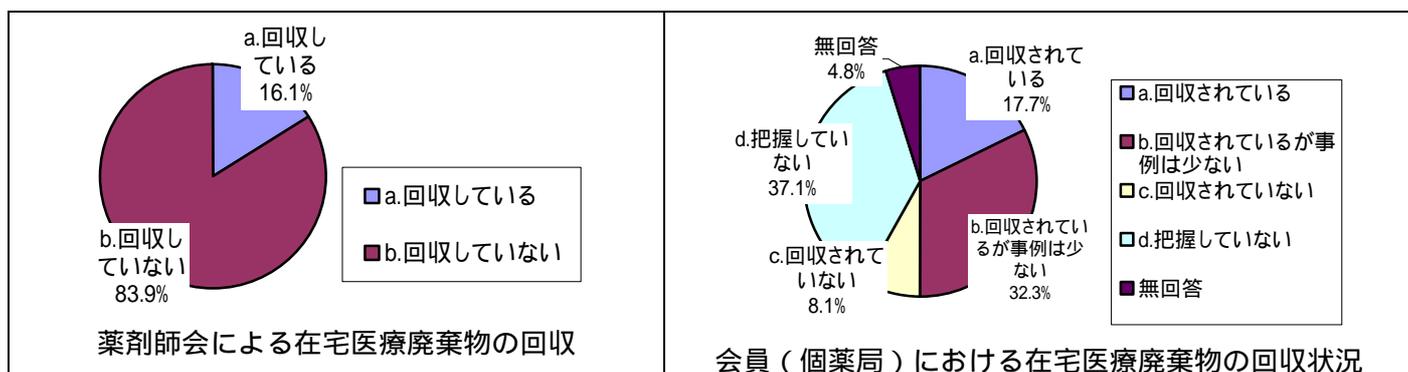
a.回収されている	b.回収されているが事例は少ない	c.回収されていない	d.把握していない	無回答	合計
11	20	5	23	3	62
17.7%	32.3%	8.1%	37.1%	4.8%	100%

回収物の内訳

注射針+注射針以外	注射針のみ	注射針以外	無回答	合計
7	16	1	7	31
11.3%	25.8%	1.6%	11.3%	50.0%

注1) 上記で「a」または「b」の回答者のみが本設問を回答している。

注2) 注射針以外の廃棄物は、シリンジ、不要になった薬品、チューブ・カテーテル類(IVH等)、バッグ類(CAPDバッグ等)である。



(5) 訪問看護ステーション

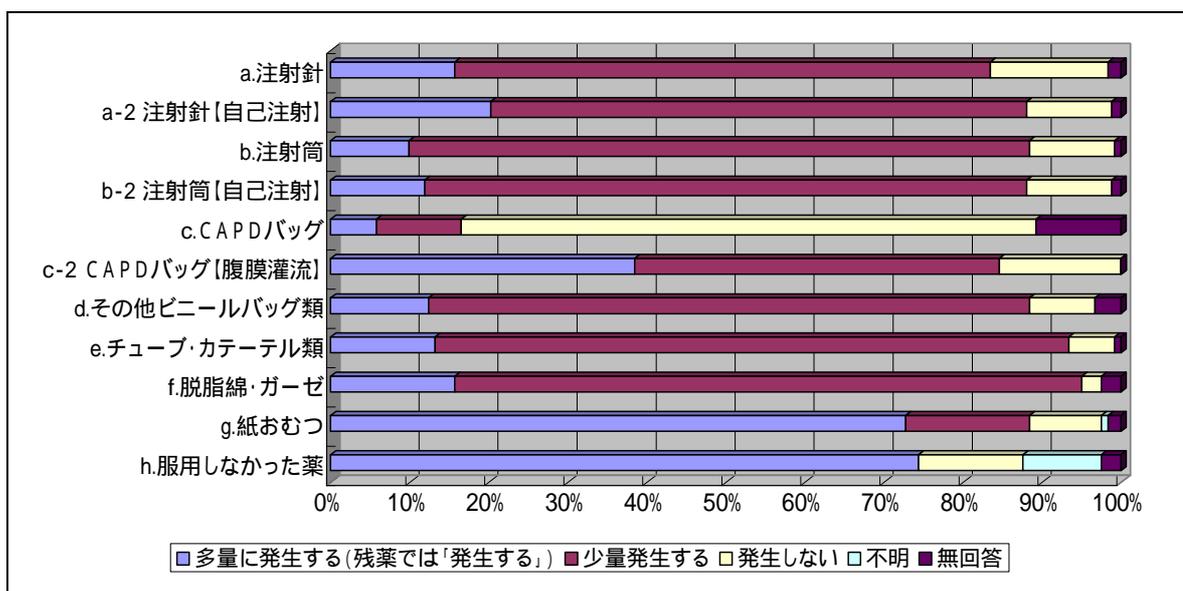
1) 在宅医療廃棄物の発生状況

	多量に発生する(残薬では「発生する」)	少量発生する	発生しない	不明	無回答	合計
a.注射針	19 15.7%	82 67.8%	18 14.9%	0 0%	2 1.7%	121 100%
a-2 注射針【自己注射】	17 20.2%	57 67.9%	9 10.7%	0 0%	1 1.2%	84 100%
b.注射筒	12 9.9%	95 78.5%	13 10.7%	0 0%	1 0.8%	121 100%
b-2 注射筒【自己注射】	10 11.9%	64 76.2%	9 10.7%	0 0%	1 1.2%	84 100%
c.CAPDバッグ	7 5.8%	13 10.7%	88 72.7%	0 0%	13 10.7%	121 100%
c-2 CAPD バッグ【腹膜灌流】	5 38.5%	6 46.2%	2 15.4%	0 0%	0 0%	13 100%
d.その他ビニールバッグ類	15 12.4%	92 76.0%	10 8.3%	0 0%	4 3.3%	121 100%
e.チューブ・カテーテル類	16 13.2%	97 80.2%	7 5.8%	0 0%	1 0.8%	121 100%
f.脱脂綿・ガーゼ	19 15.7%	96 79.3%	3 2.5%	0 0%	3 2.5%	121 100%
g.紙おむつ	88 72.7%	19 15.7%	11 9.1%	1 0.8%	2 1.7%	121 100%
h.服用しなかった薬	90 74.4%	-	16 13.2%	12 9.9%	3 2.5%	121 100%
i.その他1[容器(ボトル類、缶、段ボール等)]	1 25.0%	0 0%	0 0%	3 75.0%	-	4 100%
j.その他2[血糖測定器関連(穿刺針、試験紙)]	1 25.0%	3 75.0%	0 0%	0 0%	-	4 100%
k.その他3[その他]	1 11.1%	0 0%	5 55.6%	3 33.3%	-	9 100%

注1) 「a-2 注射針【自己注射】」、「b-2 注射筒【自己注射】」は、別の設問で「在宅自己注射」を受けている患者がいるという回答をしている訪問看護ステーションの発生状況を示している。

注2) 「c-2 CAPD バッグ【腹膜灌流】」は、別の設問で「在宅自己腹膜灌流」を受けている患者がいるという回答をしている訪問看護ステーションの発生状況を示している。

注3) 「k.その他3[その他]」は、手袋、高蛋白食、貼付剤、人工鼻、呼吸器(回路) 自己注射以外の注射針である。



在宅医療廃棄物の発生状況

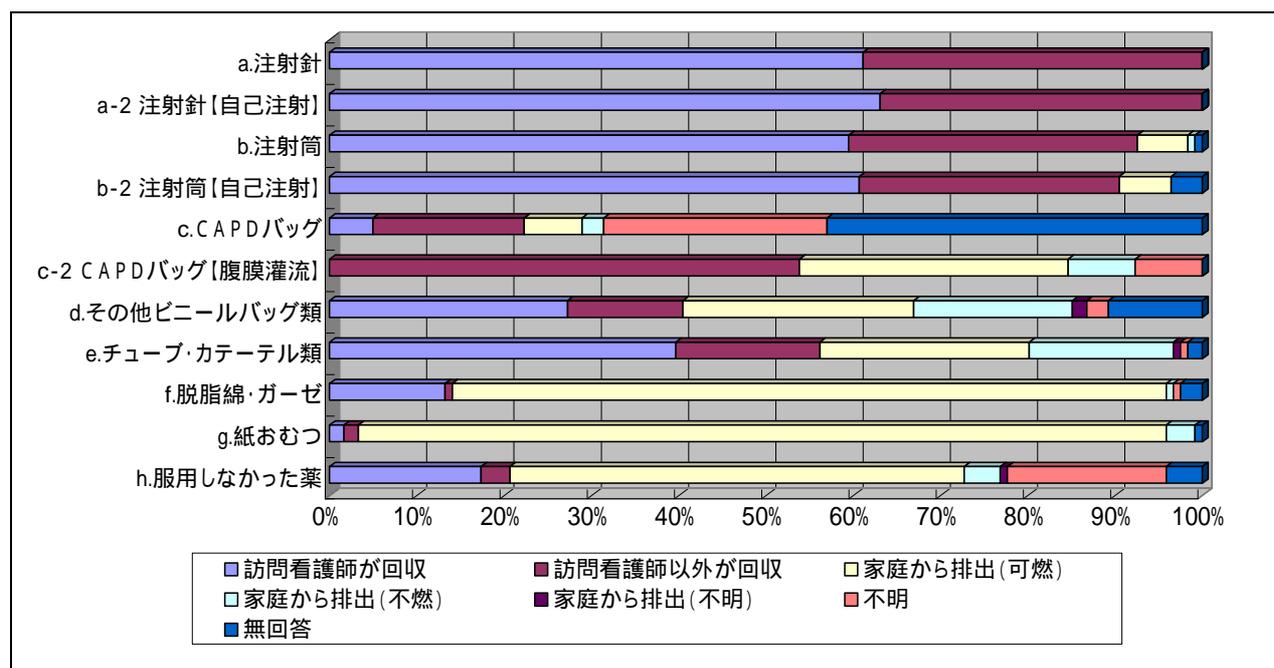
2) 在宅医療廃棄物の回収状況

	訪問看護師 が回収	訪問看護師 以外が回収	家庭から排出			不明	無回答	合計
			可燃	不燃	不明			
a.注射針	74 61.2%	47 38.8%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	121 100%
a-2 注射針【自己 注射】	53 63.1%	31 36.9%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	84 100%
b.注射筒	72 59.5%	40 33.1%	7 5.8%	1 0.8%	0 0%	0 0%	1 0.8%	121 100%
b-2 注射筒【自己 注射】	51 60.7%	25 29.8%	5 6.0%	0 0%	0 0%	0 0%	3 3.6%	84 100%
c.CAPD バッグ	6 5.0%	21 17.4%	8 6.6%	3 2.5%	0 0%	31 25.6%	52 43.0%	121 100%
c-2 CAPD バッグ 【腹膜灌流】	0 0%	7 53.8%	4 30.8%	1 7.7%	0 0%	1 7.7%	0 0%	13 100%
d.その他ビニール バッグ類	33 27.3%	16 13.2%	32 26.4%	22 18.2%	2 1.7%	3 2.5%	13 10.7%	121 100%
e.チューブ・カテー テル類	48 39.7%	20 16.5%	29 24.0%	20 16.5%	1 0.8%	1 0.8%	2 1.7%	121 100%
f.脱脂綿・ガーゼ	16 13.2%	1 0.8%	99 81.8%	1 0.8%	0 0%	1 0.8%	3 2.5%	121 100%
g.紙おむつ	2 1.7%	2 1.7%	112 92.6%	4 3.3%	0 0%	0 0%	1 0.8%	121 100%
h.服用しなかった 薬	21 17.4%	4 3.3%	63 52.1%	5 4.1%	1 0.8%	22 18.2%	5 4.1%	121 100%
i.その他1【容器(ボトル 類、缶、段ボール等)】	1 25.0%	0 0%	0 0%	3 75.0%	0 0%	0 0%	- -	4 100%
j.その他2【血糖測定器 関連(穿刺針、試験 紙)】	1 25.0%	3 75.0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	- -	4 100%
k.その他3【その 他】	1 25.0%	0 0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0%	0 0%	- -	4 100%

注1) 「a-2 注射針【自己注射】」、「b-2 注射筒【自己注射】」は、別の設問で「在宅自己注射」を受けている患者がいるという回答をしている訪問看護ステーションの回収状況を示している。

注2) 「c-2 CAPD バッグ【腹膜灌流】」は、別の設問で「在宅自己腹膜灌流」を受けている患者がいるという回答をしている訪問看護ステーションの回収状況を示している。

注3) 「k.その他3【その他】」は、手袋、高蛋白食、貼付剤、人工鼻、呼吸器(回路)、自己注射以外の注射針である。



在宅医療廃棄物の回収状況

3) 回収後の廃棄物の処理

a.産業廃棄物処理業者に委託する	b.メーカーが回収する	c.市町村に排出する	d.関連施設に持ち込む	e.不明	無回答	合計
52	0	2	50	5	12	121
43.0%	0%	1.7%	41.3%	4.1%	9.9%	100%

注) 「d.関連施設」は、「処方箋を出した医療機関」、「かかり付け医」等、全て「医療機関」という回答であった。

4) 回収を始めた動機(複数回答)

a.独自の判断で回収を始めた	b.患者・家族からの相談で回収を始めた	c.メーカーと相談して回収を始めた	d.行政との協議で回収を始めた	e.その他	合計
72	26	0	6	11	115
69.2%	25.0%	0%	5.8%	10.6%	110.6%

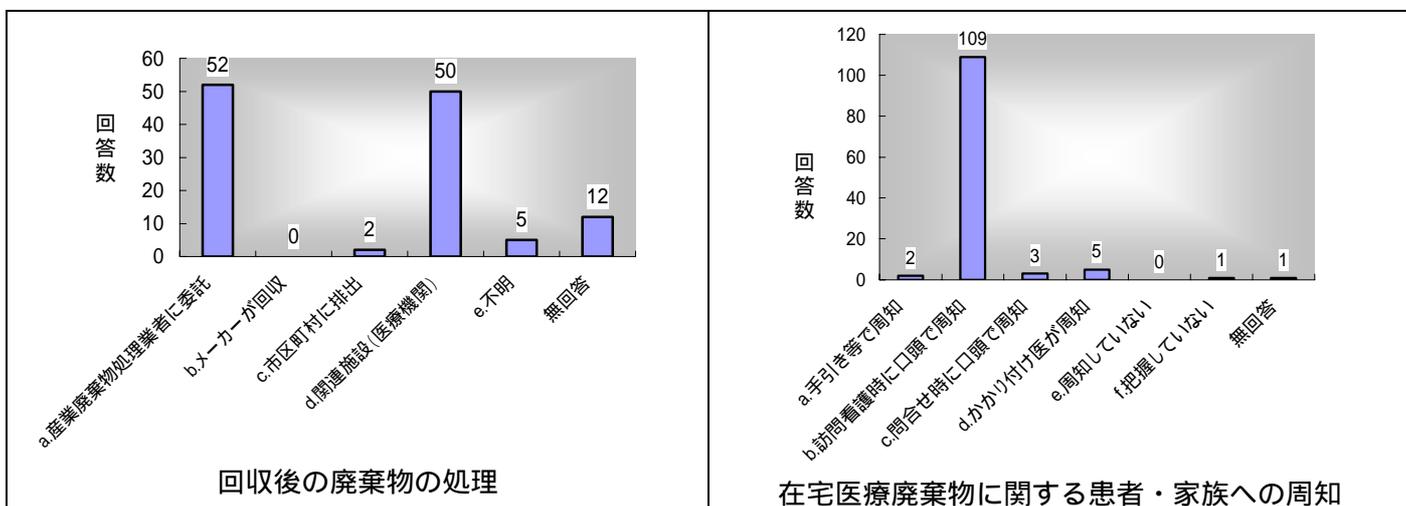
注) その他は、「医療機関と相談」(回答数:9)、「協会として回収することになった」、「医療廃棄物として取り扱うためのいい方法は何かを考えて回収業者と相談した」である。

5) 在宅医療廃棄物に関する患者・家族への周知

a.手引き等により周知している	b.訪問看護時に口頭で周知している	c.患者・家族から問い合わせがあったときに口頭で周知する	d.訪問看護師ではなく、かかり付け医から周知を行う	e.周知していない	f.それぞれの看護師に対応を任せているため把握していない	無回答	合計
2	109	3	5	0	1	1	121
1.7%	90.1%	2.5%	4.1%	0%	0.8%	0.8%	100%

6) 在宅医療廃棄物に関する周知内容(複数回答)

a.持ち込み先について周知する	b.家庭から在宅医療廃棄物を排出する際の注意事項について周知する	c.家庭内における在宅医療廃棄物の保管方法について周知する	d.在宅医療廃棄物の処理に関する相談窓口について周知する	e.その他	合計
77	98	77	9	0	261
67.5%	86.0%	67.5%	7.9%	0%	228.9%

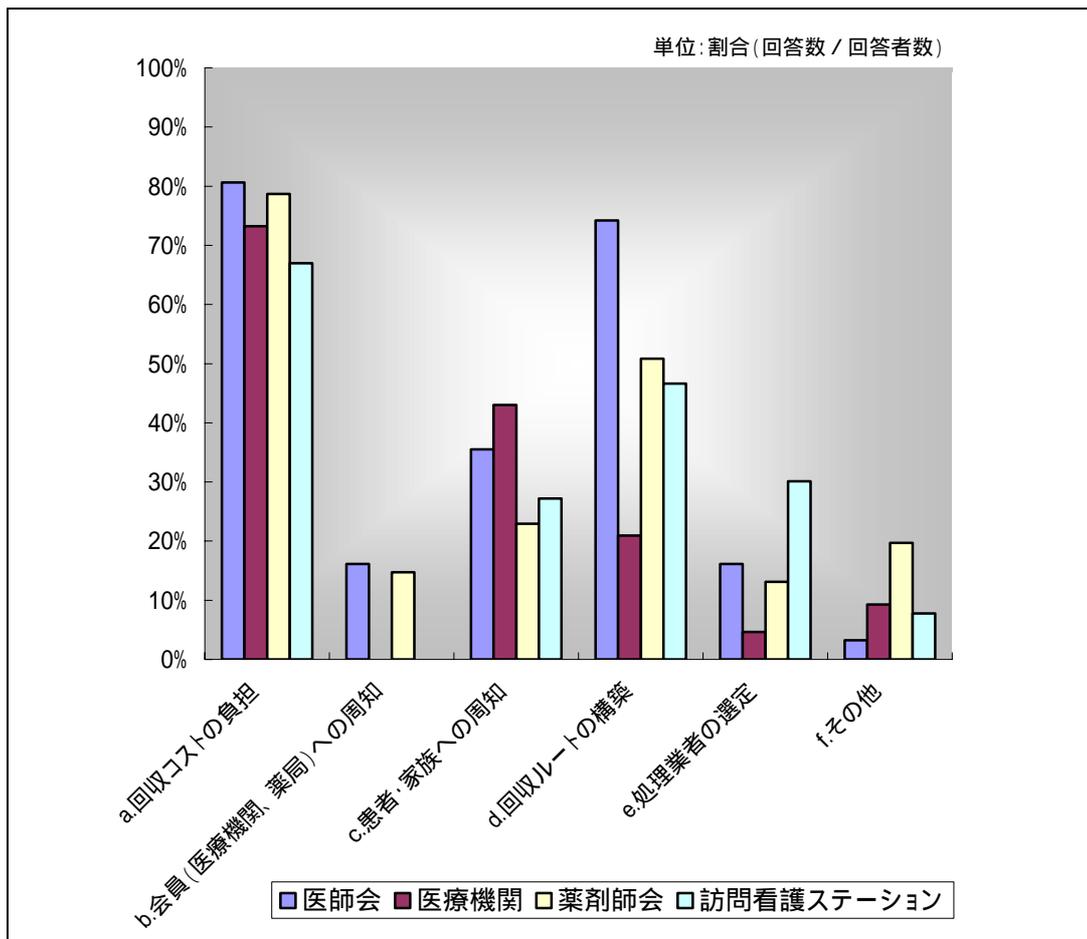


(6) 共通項目

1) 在宅医療廃棄物の回収を行う場合の障害(複数回答)

	a. 回収コストの負担(捻出)が困難である	b. 会員(医療機関、薬局)への周知徹底が困難である	c. 患者・家族への周知徹底が困難である	d. 回収ルート構築が困難である	e. 処理業者の選定が困難である	f. その他	合計
医師会	25 80.6%	5 16.1%	11 35.5%	23 74.2%	5 16.1%	1 3.2%	70 225.8%
医療機関	63 73.3%	- -	37 43.0%	18 20.9%	4 4.7%	8 9.3%	130 151.2%
薬剤師会	48 78.7%	9 14.8%	14 23.0%	31 50.8%	8 13.1%	12 19.7%	122 200.0%
訪問看護ステーション	69 67.0%	- -	28 27.2%	48 46.6%	31 30.1%	8 7.8%	184 178.6%
合計	205 73.0%	14 5.0%	90 32.0%	120 42.7%	48 17.1%	29 10.3%	506 180.1%

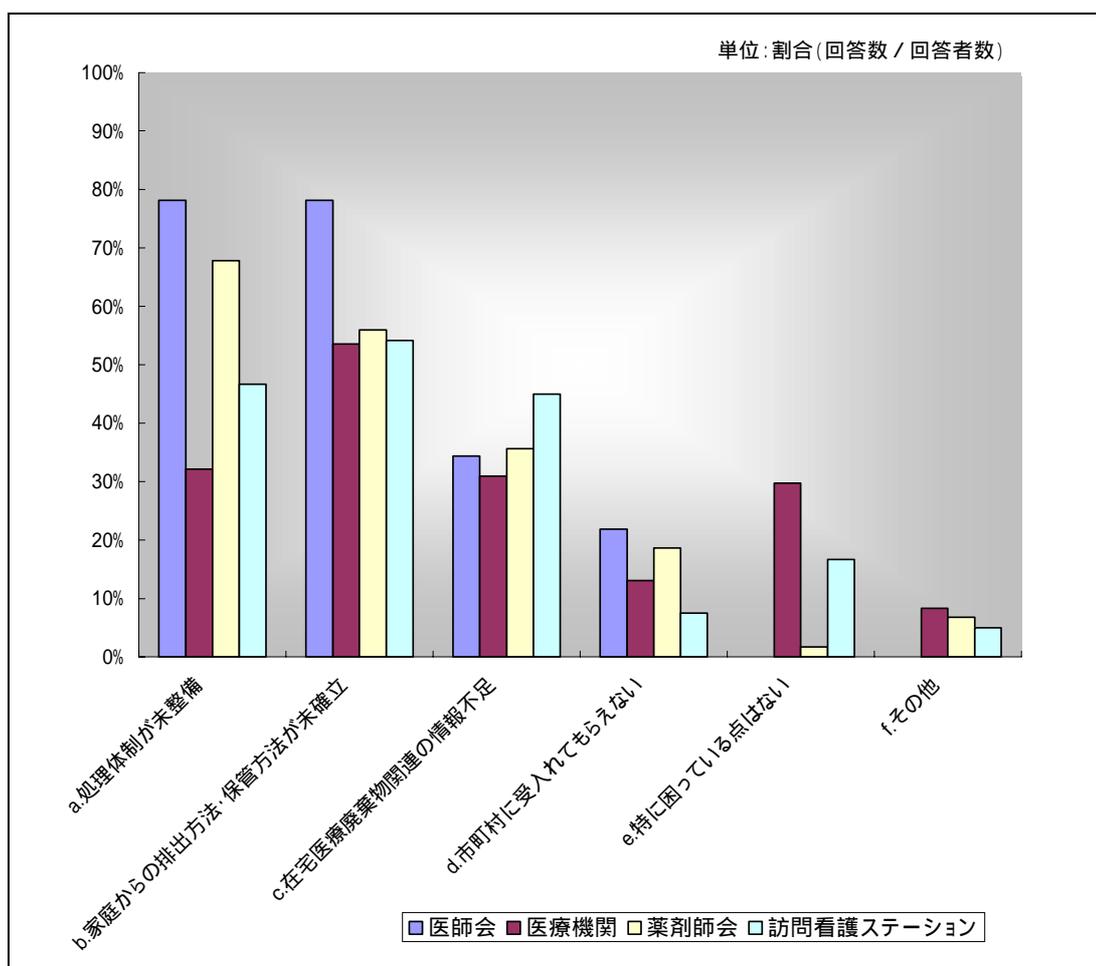
注) その他は主に「特にない(解決している)」、「回収の手間」、「法規制」、「廃棄物の取扱い(運搬、保管)」等である。



在宅医療廃棄物の回収を行う場合の障害(複数回答)

2) 在宅医療廃棄物の処理の問題点(複数回答)

	a.収集運搬等の処理体制が整備されていない(回収ルートの不整備等)	b.在宅医療廃棄物の患者・家族からの排出方法や家庭内の保管方法が確立していない	c.在宅医療廃棄物に関する情報が不足している	d.市町村に受け入れてもらえない	e.特に困っている点はない	f.その他	合計
医師会	25 78.1%	25 78.1%	11 34.4%	7 21.9%	0 0%	0 0%	68 212.5%
医療機関	27 32.1%	45 53.6%	26 31.0%	11 13.1%	25 29.8%	7 8.3%	141 167.9%
薬剤師会	40 67.8%	33 55.9%	21 35.6%	11 18.6%	1 1.7%	4 6.8%	110 186.4%
訪問看護ステーション	56 46.7%	65 54.2%	54 45.0%	9 7.5%	20 16.7%	6 5.0%	210 175.0%
合計	148 50.2%	168 56.9%	112 38.0%	38 12.9%	46 15.6%	17 5.8%	529 179.3%

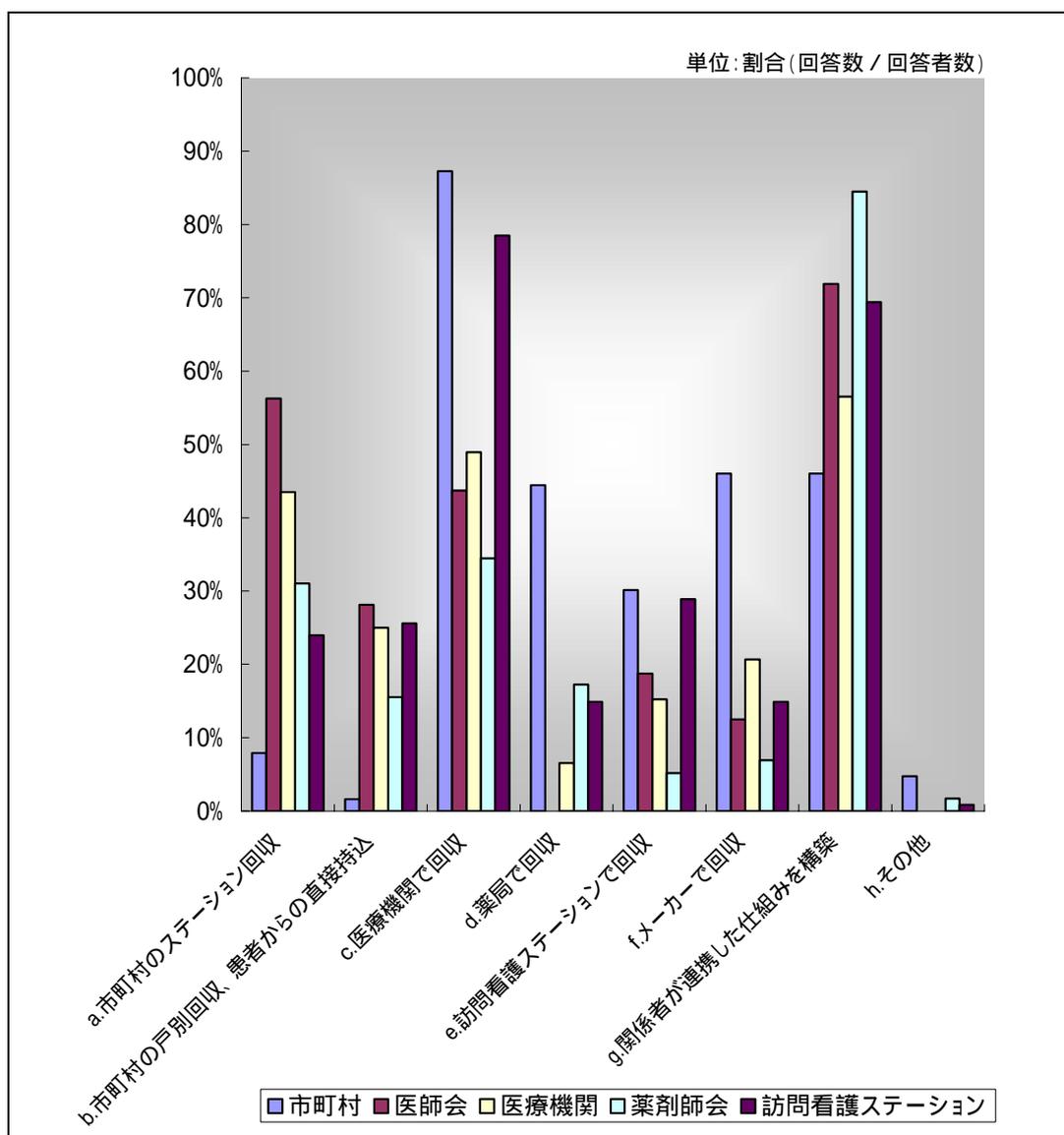


在宅医療廃棄物の処理の問題点(複数回答)

3) 在宅医療廃棄物の処理の在り方【複数(上位3つまで)回答】

	a.市町村が回収(ステーション回収)するべきである	b.市町村が在宅医療廃棄物を戸別回収する仕組み、または直接持ち込む仕組みを作るべきである	c.医療機関で回収するべきである	d.薬局で回収するべきである	e.訪問看護ステーションで回収するべきである	f.メーカーで回収するべきである	g.市町村、医療機関、薬局、訪問看護ステーション、メーカー等が連携した仕組みを構築するべきである	h.その他	合計
市町村	5 7.9%	1 1.6%	55 87.3%	28 44.4%	19 30.2%	29 46.0%	29 46.0%	3 4.8%	169 268.3%
医師会	18 56.3%	9 28.1%	14 43.8%	0 0%	6 18.8%	4 12.5%	23 71.9%	0 0%	74 231.3%
医療機関	40 43.5%	23 25.0%	45 48.9%	6 6.5%	14 15.2%	19 20.7%	52 56.5%	0 0%	199 216.3%
薬剤師会	18 31.0%	9 15.5%	20 34.5%	10 17.2%	3 5.2%	4 6.9%	49 84.5%	1 1.7%	114 196.6%
訪問看護ステーション	29 24.0%	31 25.6%	95 78.5%	18 14.9%	35 28.9%	18 14.9%	84 69.4%	1 0.8%	311 257.0%
合計	110 30.1%	73 19.9%	229 62.6%	62 16.9%	77 21.0%	74 20.2%	237 64.8%	5 1.4%	867 236.9%

注) 割合はそれぞれの回答数と、回答者数[上記(1)の「回答者」欄]から算出した数値である。



在宅医療廃棄物の処理に望まれること【複数(上位3つまで)回答】